

自信と志



校長 小林 正樹

新年あけましておめでとうございます。保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年も、教職員一丸となり、「自分に自信をもち、自分や周りの人を大切にできる生徒の育成」に努めてまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。



学校は、ホップ・ステップからジャンプの3学期となります。年間総仕上げの3学期。そして、4月からの進級・進学等に備える3学期です。1年間の総まとめ、総仕上げをして、一人ひとりが自分の良さや可能性を見いだす学期です。私たち教職員は、生徒たち一人ひとりが、この1年間でどう成長したか、次の年度に期待することは何かを具体的に見だし、自信と志を高くもって新たな年度に向かうよう支援していきたいと考えています。そのために皆さん、次の2つのことに重点を置いてください。学習面では、この1年間の復習を行いましょ。自分が苦手なところを克服する努力や学び残しをなくすための取組が大切です。生活面では、友達の良いところや自分の良いところを互いに認め、感謝の気持ちで終われるようにしていくことが大切です。「一年の計は元旦にあり」ということわざがあるように、1月は志を立ててものごとに取り組むのに、ふさわしい月です。皆さんが立てた志を、先生たちも全力で応援しサポートします。実りある令和6年となるよう期待しています。

3年生の皆さんは、新しい年が始まり、4月から高校生となります。多くの3年生は再来週から私立入試が始まり、2月には公立入試があります。中学校生活残り僅かとなった今、もう一度自身の生活態度を見直し、卒業時には学年目標の「夢の花を咲かせよう」を実現できる学年になることに期待します。また、今まで先輩方が繋いできたバトンを「美しく」後輩達に渡せるよう、最後まで「大谷口中の代表」ということを忘れず気を引き締め、「たくましく」いきましょう。3学期は勉強で周りが見えづらくなる時期だからこそ、自身を振り返り1・2年の頃から築き上げてきた日々の当たり前を「かしこく」行えるよう、最高学年としての自覚を最後まで持ち続けてください。受験間近となった今だからこそ、最後に全員で団結し、けじめをつけ、後輩たちの心に最後まで「全力疾走」した3年生としての生活を送ることが大切です。そのために残りの期間は勉強や進路関係だけに力を入れるのではなく、学校という場所やこの先離ればなれになる友達や先生との時間を大切に、中学校生活の思い出を最高のものにするための時間と考えてください。皆さんには、「競い励まし共に成長できる仲間」がたくさんいます。「上手くいかなかった自分を受け入れて、次どうしたらもっと良くなるのか。」を考えられること、そしてそれを温かく見守り、励ます仲間がいることを忘れないでください。共に切磋琢磨（せっさたくま）しながら、誰もが成長できる大谷口中学校であってほしいです。

今後とも生徒たちが自信と志をもって充実した学校生活を送れるよう、変わらぬご支援とご協力、そして温かな応援をよろしくお願いいたします。